**機械工学専攻**

　　**機修-3 　 東京都市大学機械系修士学位論文概要原稿執筆要領**

35mm以上空ける

(1 line space )

 **(10pt　強調文字) 指導 都市 太郎　教授**

**1481001　 機械　好男**

(1 line space )

Instruction of Manuscript of Proceedings for Master Thesis (13pt)

Yoshio KIKAI (11pt)

(1 line space )

ABSTRACT (9pt)

 Abstract should be written in English with its length of 200-300 words in a single paragraph. In the beginning of the abstract, the subject of the paper should be stated clearly, together with its scope and objectives. Then, the methods, equipment, results and conclusions in the paper should be stated concisely in a sufficiently logical manner. The discussion on the results may also be stated to emphasize their importance appropriately.

***Key words***: Master thesis, Original paper, Guideline for manuscript, Instruction, Tokyo City

(1 line space )

**1．はじめに**

8mm

　機械専攻機械領域における修士論文概要集原稿は、このフォーマットに沿ってＡ４版６ページにて作成すること．詳細なフォーマットについては以下に示す通りとする．

(1 line space )

**2.　原稿作成要領**

**2.1 フォーマット**

左右マージンは21mm，上マージンは22mm,下マージンは28mmをとる．本文は2段組で，コラム幅80mm，コラム間隔8mmとする．フォントは原則として明朝体を使用する．

**2.2　タイトル**

題名は２・３行目に14ptの強調文字（太字）を使用し，中心割付で書くこと．ただし，左端に専攻名とコード番号を記入するため，左35mm以上の余白をとって題名を書き始めること．

**2.3　専攻名とコード番号**

　専攻名は10ptのゴシック体を使用して１行目左端から**機械工学専攻**と記入する．コード番号は10pt・ゴシック体により２行目３文字目から**機修−４**とか**機修−１２**(公聴会の発表番号)のように記入する．

**2.4 　著者名**

研究指導者名と著者名は３行以内で10ptの強調体により右揃えで記入する．著者名の前には学籍番号を記入する．

* 1. **英文タイトル以降の書き方**

和文著者名より１行空けて，英文タイトル(13pt)，英文著者名(11pt)およびABSTRACT(9pt)，Key Words (9pt, 5-10words)を中央揃えにて記述する．

(1 line space )

**3．本　　文**

**3.1　本文の書き方**

　本文は文字サイズ9pt×１行最大25文字(両端揃え)×２段組で記述し，書き出しはKey Wordsから１行空けて書き始める．章は明朝体の強調体，あるいはゴシック体を使用し，１行空けて左詰めで記述する．

* 1. **図・表の書き方**

　図や表は本文中の説明と離れない位置に貼り付ける．また図表の幅は原則として１段の幅(80mm)以内に収め，やむ得ない場合は２段の幅で記述する．なお図表の左右には本文は回り込まないようにする．さらに図・表同士，あるいは図，表と本文は１行以上間隔をあける.

(1 line space )

**4．その他の注意事項**

* 1. **修士論文に関する成果の記述**

修士論文提出において学協会に掲載された学術論文や講演論文集は必ず本原稿の最後に記述すること．なおその書式は参考文献と同じ標記方法とする．

* 1. **提出等**

原稿はPDFファイルとして提出し, ファイル名は”機修\_順番.pdf“とすること．

**締切日：２０２３年２月３日（金）17:00**

PDF形式にてオンライン上で提出する．提出先は別途指示する.

問合せ先：機械材料研究室：藤間・丸山

（tfujima@tcu.ac.jp, smaruyam@tcu.ac.jp）